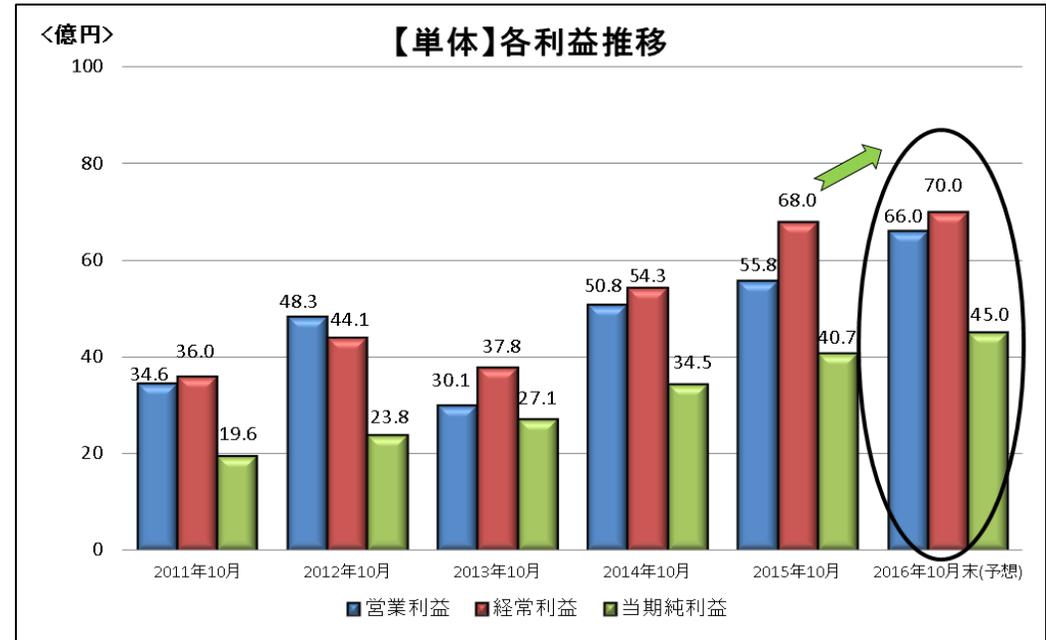
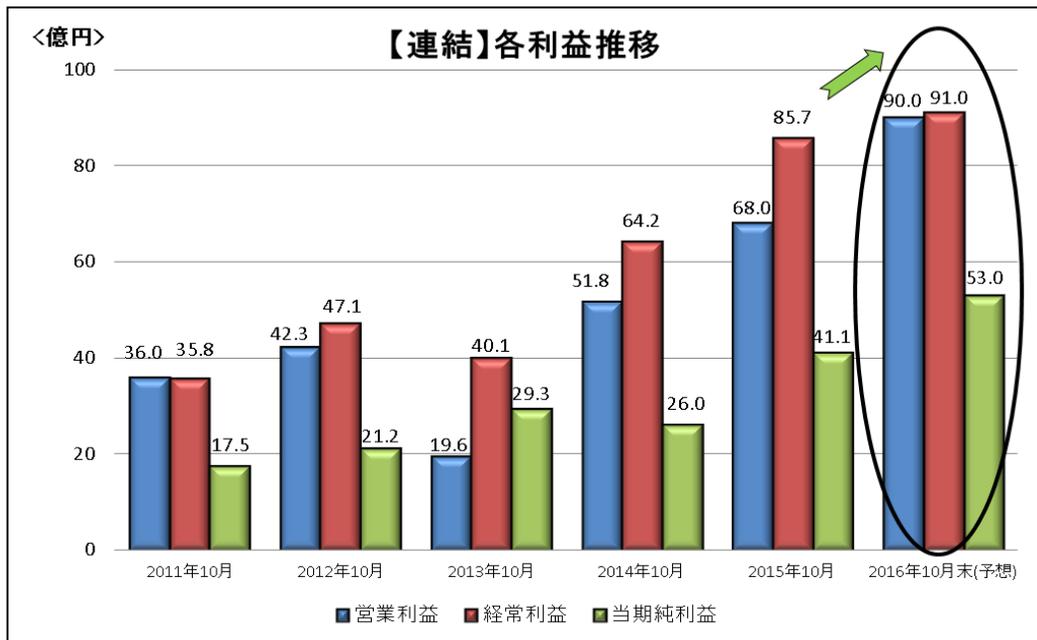
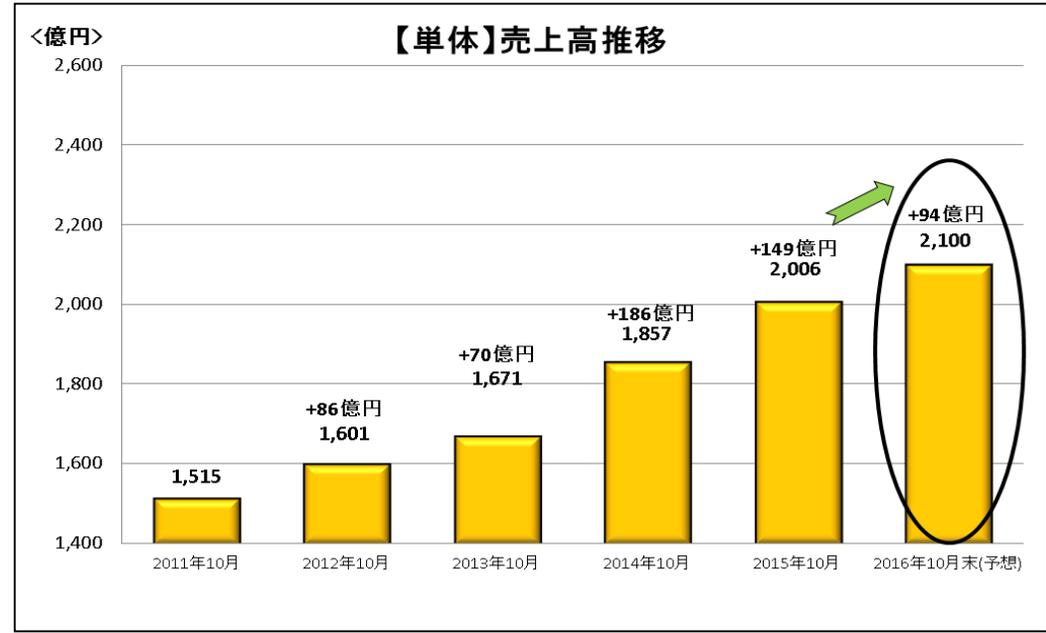
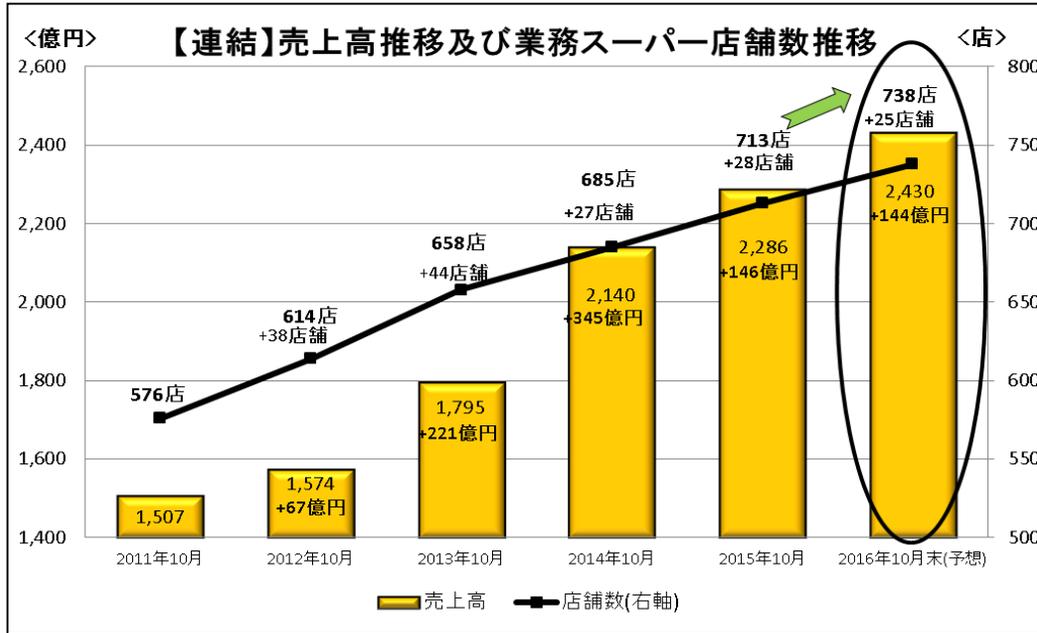


# 会社説明会資料

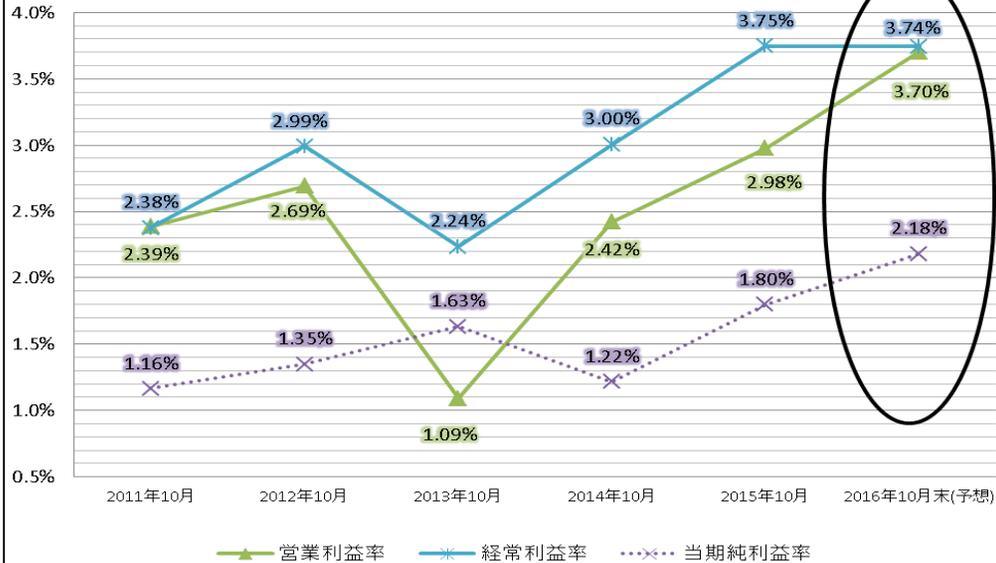
2016年1月27日



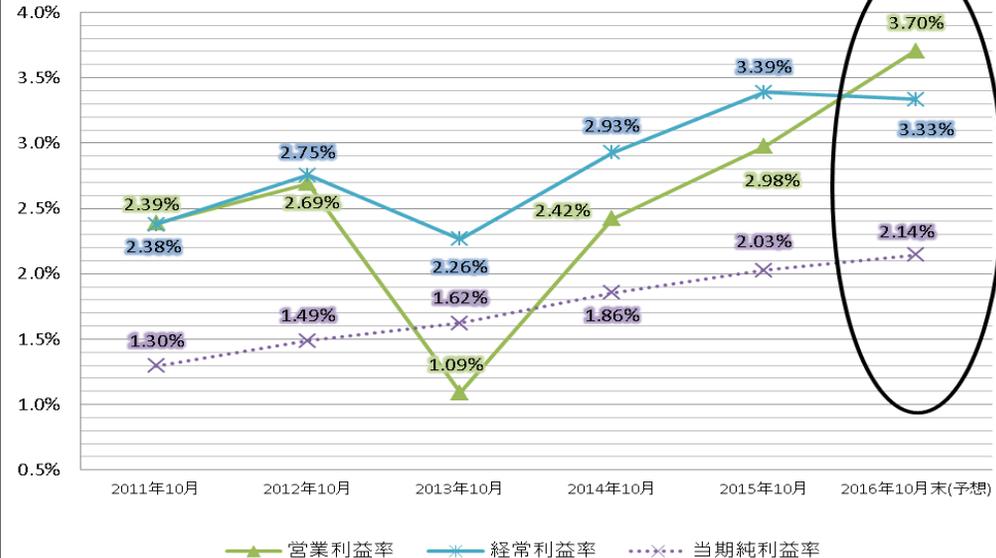
●業績ハイライト	1
●株主還元策・利益還元	5
●神戸物産グループの概要	6
●神戸物産グループの第一次産業・第二次産業	8
●神戸物産グループの第三次産業	
・業務スーパー	9
・ガレオン	11
・神戸クック	12
・クックイノベーション	14
●エコ再生エネルギー事業	15
●掲載メディア紹介（抜粋）	17
●今後の計画	18



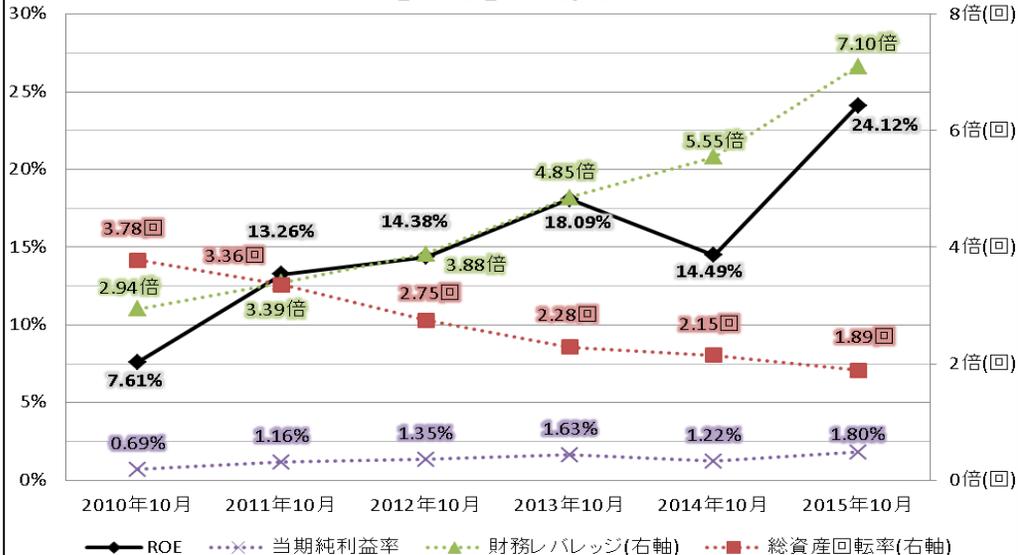
### 【連結】利益率推移



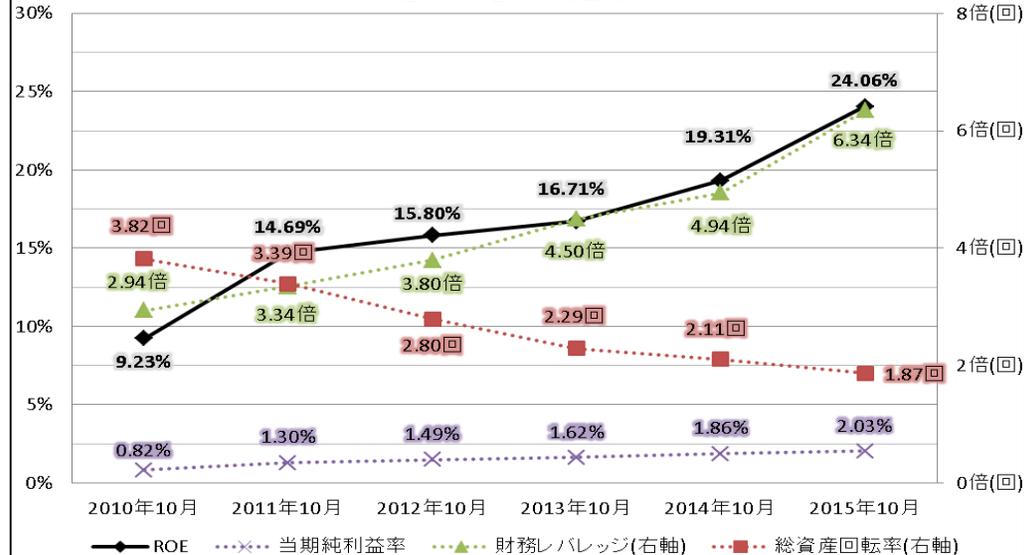
### 【単体】利益率推移



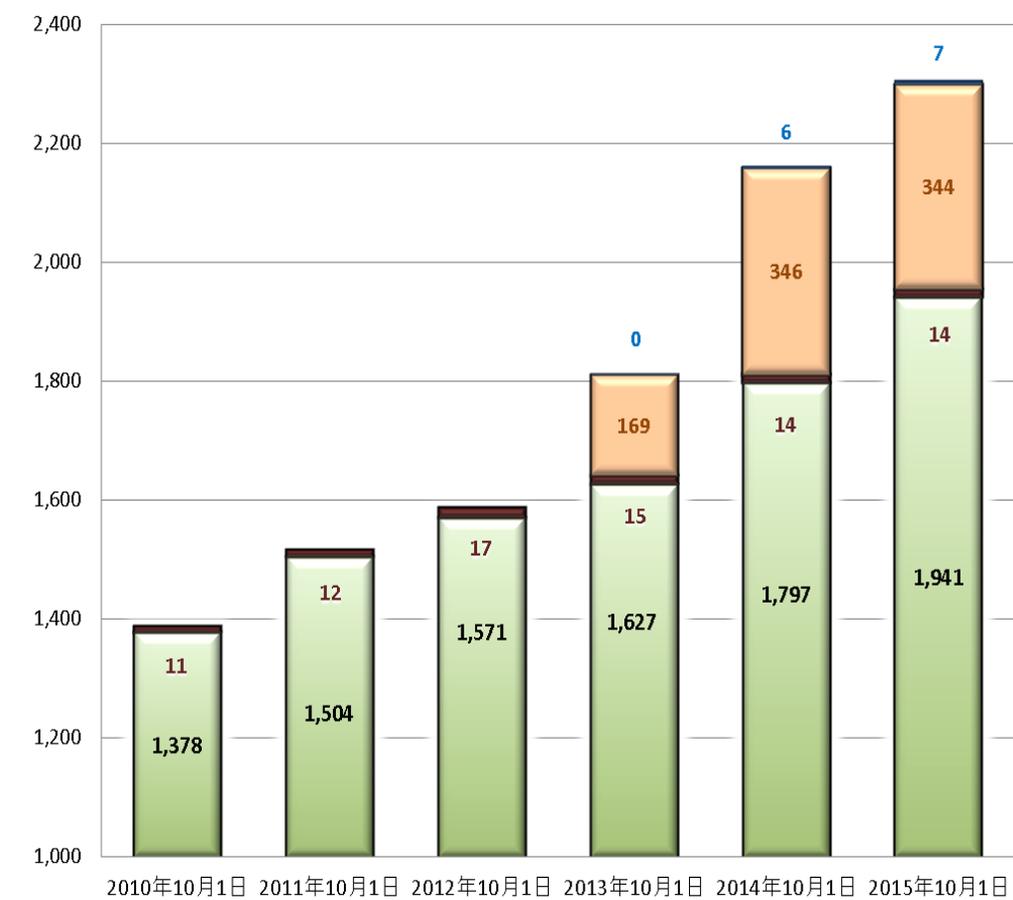
### 【連結】ROE推移



### 【単体】ROE推移

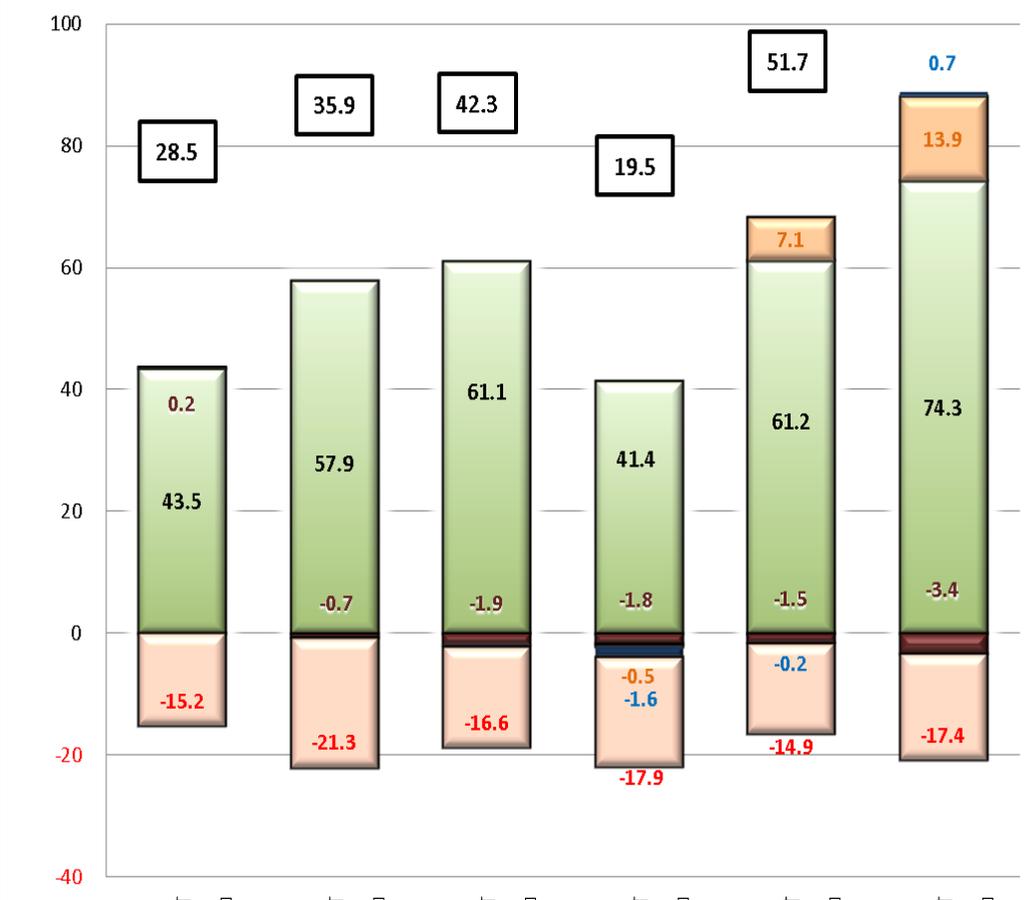


【連結】セグメント別売上推移



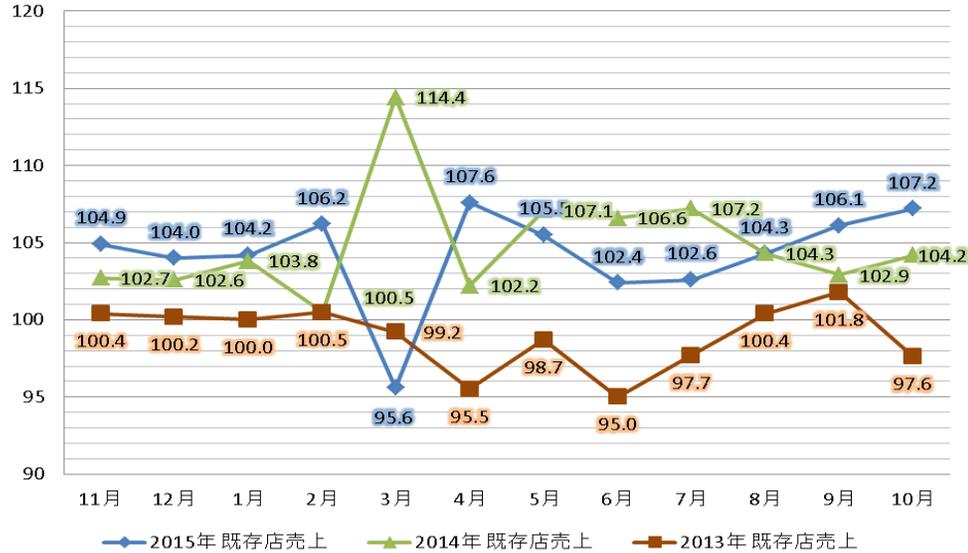
■①業務スーパー事業      ■②神戸クック事業  
 ■③クックイノベーション事業      ■④エコ再生エネルギー事業

【連結】セグメント別営業利益推移

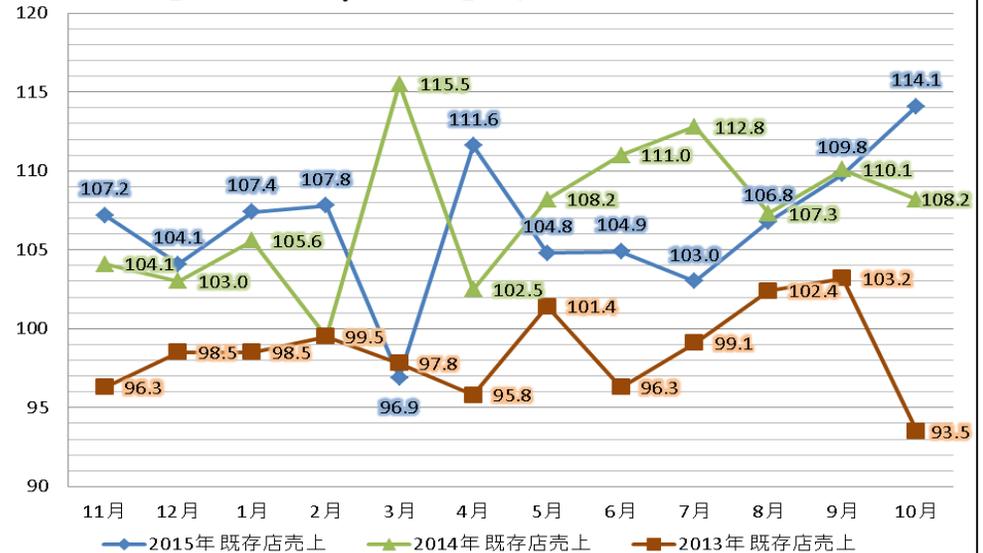


■①業務スーパー事業      ■②神戸クック事業      ■③クックイノベーション事業  
 ■④エコ再生エネルギー事業      ■調整額

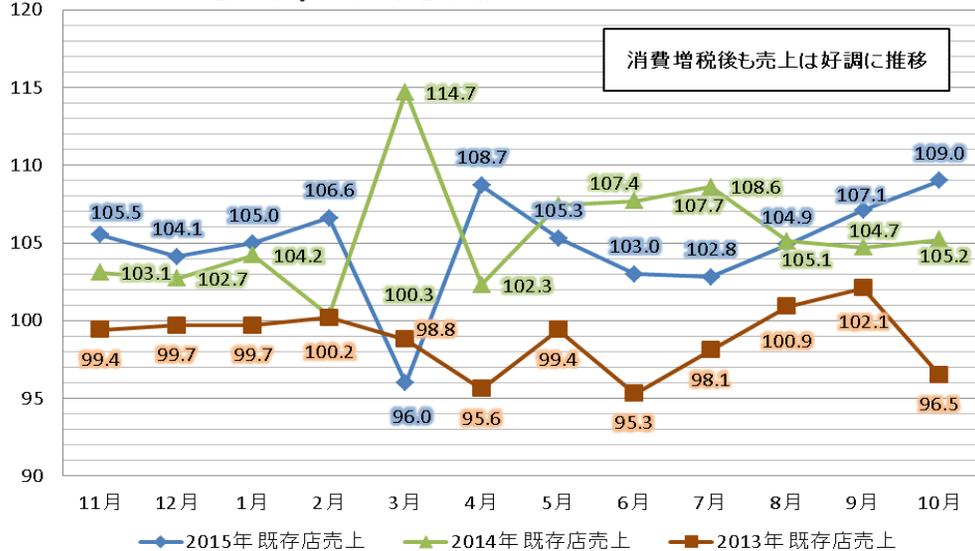
<前年比/> 【直轄エリア/既存店】業務スーパー月次動向



<前年比/> 【地方エリア/既存店】業務スーパー月次動向



<前年比/> 【全店/既存店】業務スーパー月次動向



● **関東直轄店舗数**

2013年10月末:161店 → 2014年10月末:179店 → 2015年4月末:184店 → 2015年10月末:193店  
 (関東直轄:東京・神奈川・埼玉・千葉・北海道)

● **関西直轄店舗数**

2013年10月末:209店 → 2014年10月末:213店 → 2015年4月末:216店 → 2015年10月末:218店  
 (関西直轄:兵庫(淡路島除く)・大阪・京都・滋賀・奈良・和歌山)

● **地方店舗数**

2013年10月末:288店 → 2014年10月末:293店 → 2015年4月末:296店 → 2015年10月末:302店

## 株式分割の実施

## ●効力発生日 2015年2月1日

## ・分割の割合

1株につき、2株の割合を持って分割

## ・分割により増加する株式数

株式分割前の発行済み株式総数 8,800,000株

分割により増加する株式数 8,800,000株

株式分割後の発行済み株式総数 17,600,000株

株式分割後の発行可能株式総数 32,000,000株

## ●効力発生日 2015年11月1日

## ・分割の割合

1株につき、2株の割合を持って分割

## ・分割により増加する株式数

株式分割前の発行済み株式総数 17,100,000株

分割により増加する株式数 17,100,000株

株式分割後の発行済み株式総数 34,200,000株

株式分割後の発行可能株式総数 64,000,000株

## 自社株買いの実施

## ●取得期間：2014年12月16日～2015年1月23日

## ・取得に係る事項の内容

取得する株式の種類：当社普通株式

取得株式の総数：600,000株（上限）

株式の取得価格の総額：3,000,000,000円（上限）

取得の方法：東京証券取引所における市場買付

## ・2014年12月29日時点の状況

取得した株式の総数：308,300株

株式の取得価格の総額：2,999,433,000円

## ・2014年12月29日時点の自己株式の保有状況

発行済み株式総数（自己株式含む）：8,800,000株

保有自己株式数：2,056,028株

発行済み株式総数に対する割合：23.36%

## ●取得期間：2015年7月22日～2015年10月22日

## ・取得に係る事項の内容

取得する株式の種類：当社普通株式

取得株式の総数：1,000,000株（上限）

株式の取得価格の総額：10,000,000,000円（上限）

取得の方法：東京証券取引所における市場買付

## ・2015年10月22日時点の状況

取得した株式の総数：470,500株

株式の取得価格の総額：5,310,647,000円

## ・2015年10月22日時点の自己株式の保有状況

発行済み株式総数（自己株式含む）：17,100,000株

保有自己株式数：4,032,414株

発行済み株式総数に対する割合：23.58%

2015年10月期の  
期末配当予想は1  
株当たり80円の  
ため、当期末の  
総還元性向予想  
は227.48%とな  
ります。

## 優待制度の導入

当社株式への投資魅力を高め、中長期的に株式を保有していただくため、株主優待制度を導入。

保有株式数	優待の内容
100株以上	自社グループ商品 3,000円相当
500株以上	自社グループ商品 10,000円相当
1,000株以上	自社グループ商品 15,000円相当

10月31日時点の株主名簿に記載された方が対象。

## 配当金増配

当社は株主様に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識しており、事業拡大のための資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益配分を行うことを基本方針としています。

この方針に基づき検討した結果、30期の期末配当は、株式分割前の前期実績から実質2倍の増配である80円00銭の配当を実施することとなりました。

	27期 (2012年)	28期 (2013年)	29期 (2014年)	30期 (2015年)
配当実績	60円	70円	80円	80円

2015年2月1日に1：2の割合で株式分割を実施しました。

- 1981 ●食品スーパー「フレッシュ石守」を兵庫県加古川市に開業
- 1985 ●有限会社フレッシュ石守を兵庫県加古川市に設立
- 1991 ●株式会社フレッシュ石守に組織変更
- 1992 ●大連福来休食品有限公司を中国遼寧省に設立
- 2000 ●「業務スーパー」 F C 1号店を兵庫県三木市に開店
- 2001 ●株式会社フレッシュ石守が旧株式会社神戸物産を吸収合併し、同時に株式会社神戸物産に社名変更  
●地方エリア F C 体制をスタートさせ、「業務スーパー」エリア F C 1号店を新潟県燕市に開店
- 2002 ●「業務スーパー」 関東 F C 1号店を神奈川県海老名市に開店
- 2004 ●神戸物産（香港）有限公司を中国香港行政区に設立  
●神戸物産（安丘）食品有限公司を中国山東省に設立
- 2006 ●「神戸クックワールドビュッフェ」 F C 1号店を兵庫県加古川市に開店  
●本社事務所を兵庫県加古郡稲美町に移転  
●大阪証券取引所市場第2部に株式を上場  
●有限会社神戸物産フーズをグループ会社とする  
●KOBÉ BUSSAN EGYPT Limited Partnershipをエジプトに設立
- 2007 ●関西物流センターを神戸市灘区に開設
- 2008 ●株式会社オースターエッグ、株式会社ターメルトフーズをグループ会社とする  
●株式会社ベストリンケージを設立  
●株式会社神戸物産エコグリーン北海道を設立  
●株式会社ソイキューブを設立

- 2009 ●株式会社マスゼンを設立  
●秦食品株式会社を設立  
●株式会社肉の太公、宮城製粉株式会社を設立  
●株式会社麦パン工房を設立  
●「Green's K」 F C 1号店を開店
- 2011 ●株式会社エコグリーン埼玉を設立  
●「Green's K 鉄板ビュッフェ」 F C 1号店を開店  
●株式会社川口工業を設立  
●株式会社神戸機械製作所を設立  
●株式会社グリーンポーターを設立
- 2012 ●珈琲まめ工房株式会社を設立  
●メガソーラー発電事業を開始  
●大阪証券取引所市場第1部に上場  
●ほくと食品株式会社をグループ会社とする
- 2013 ●豊田乳業株式会社を設立  
●株式会社クックイノベンチャー、株式会社ジー・コミュニケーション、株式会社ジー・テイスト他5社をグループ会社とする  
●株式会社富士麺業を設立  
●関原酒造株式会社をグループ会社とする  
●Kobebussan USA, Inc.、J.J.Dining, Inc.をアメリカに設立  
●株式市場統合により東京証券取引所市場第1部に上場
- 2014 ●グループ会社の株式会社ジー・テイスト、株式会社ジー・ネットワークス及び株式会社さかい3社が経営統合し、存続会社をジー・テイストとする  
●株式会社九重町おこしエネルギーを設立  
●「ガレオン」 1号店を開店  
●菊川株式会社をグループ会社とする  
●KB Global Partners, Inc. をアメリカに設立  
●「しゃぶしゃぶ神戸Midtown 店」をニューヨークマンハッタンに開店  
●「ビュッフェ&しゃぶしゃぶ神戸」 1号店を和歌山県和歌山市に開店
- 2015 ●株式会社朝びき若鶏を設立  
●「業務スーパー」が700店舗を達成  
●「神戸クックワールドビュッフェ」初の都市型店舗を神戸市中央区に開店  
●「ガレオン」 関東1号店を川崎市中原区に開店

## 業務スーパー事業

当社売上の約8割を占める主力事業です。  
業務スーパーFC本部としての売上、加盟店への卸売りなどの他、ガレオンやグループの食品加工工場の売上などもこのセグメントに分類されます。



## 神戸クック事業

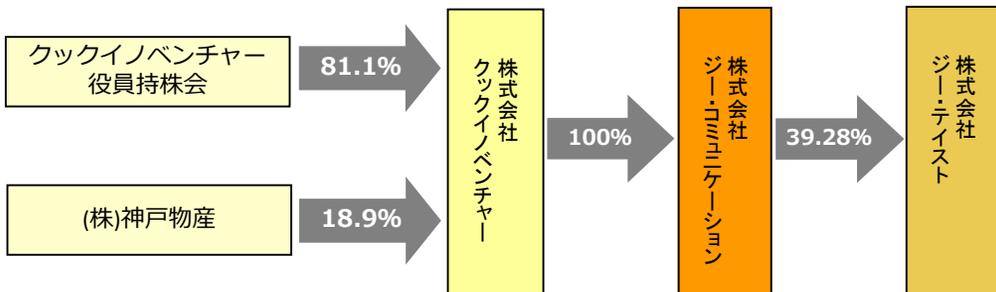
当社が主体となり直営、またはFC本部として行っている中食・外食事業です。  
惣菜店「Green's K」やビュッフェレストラン「神戸クックワールドビュッフェ」などの他、アメリカにオープンしたしゃぶしゃぶ店もこのセグメントに分類されます。



## クックイノベーション事業

当社連結であるジー・コミュニケーショングループが運営する外食事業や教育事業などが当セグメントに分類されます。  
中でも、株式会社ジー・テイスト（東証 JASDAQ:2694）が運営する外食事業が主な事業です。

### 相関図



## エコ再生エネルギー事業

2012年よりスタートしたメガソーラー発電事業を中心とした再生可能エネルギー事業です。  
今後は地熱発電など、メガソーラー以外の再生可能エネルギー活用も計画しています。



## 第一次産業

### 農業・畜産業

#### <株式会社神戸物産エコグリーン北海道>

所有農業用地面積（2015年10月31日現在）：約1,570ha  
 第一次産業から第三次産業まで取り組む独自のスタイルを確立しています。

#### <KOBE BUSSAN EGYPT Limited Partnership>

保有農地面積（2015年10月31日現在）：約2,900ha  
 通期で小麦やスイカの栽培に成功しました。



### ● 水産業

宮城県石巻市で2隻の漁船を所有し、漁業を行っています。東日本大震災の復興支援も兼ねて、水揚げした魚介は現地の市場に卸しています。



### ● 養鶏業

岡山県のグリーンポートリーにおいて「吉備高原どり」を養鶏しており、2015年4月より群馬県の朝びき若鶏にて「上州高原どり」の養鶏を開始しました。その日に処理された鶏を、当社独自の温度管理と菌数管理により新鮮なまま業務スーパーに納品しています。



## 第二次産業

### 国内外のグループ工場

大連福来休食品有限公司  
 神戸物産（安丘）食品有限公司  
 株式会社オースターエッグ  
 株式会社ターメルトフーズ  
 株式会社ソイキューブ  
 秦食品株式会社  
 株式会社マスゼン  
 株式会社肉の太公  
 株式会社麦パン工房  
 宮城製粉株式会社  
 株式会社神戸物産エコグリーン北海道

株式会社エコグリーン埼玉  
 株式会社川口工業  
 株式会社神戸機械製作所  
 株式会社グリーンポートリー  
 珈琲まめ工房株式会社  
 ほくと食品株式会社  
 豊田乳業株式会社  
 株式会社富士麺業  
 関原酒造株式会社  
 菊川株式会社  
 株式会社朝びき若鶏

合計 22社 25工場



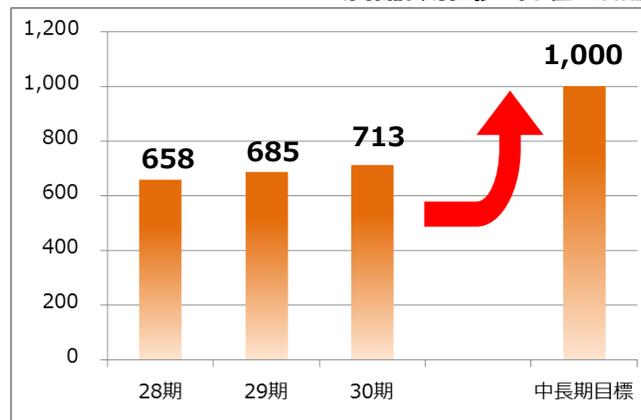
### 国内自社食品工場数 日本一

当社はこれまで、日本国内において自社食品工場の増強を図って参りましたが、その結果、日本国内での100%出資の食品工場所有数は21となり、食品小売業界で「日本一」(\*)になりました。

(\*) 大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査

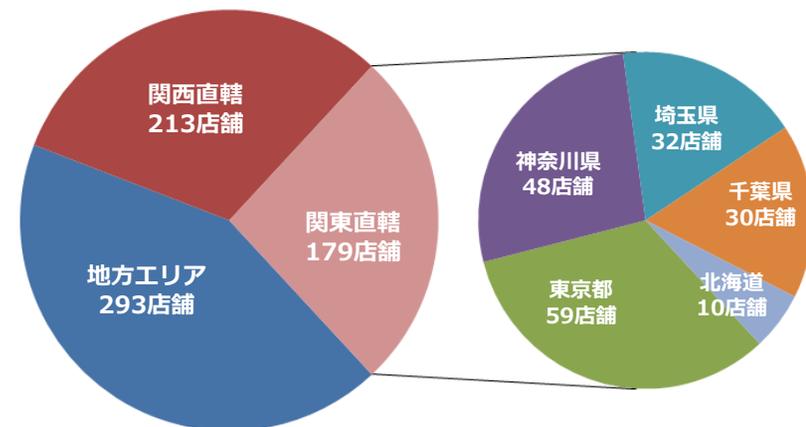


店舗数推移（単位：店舗）

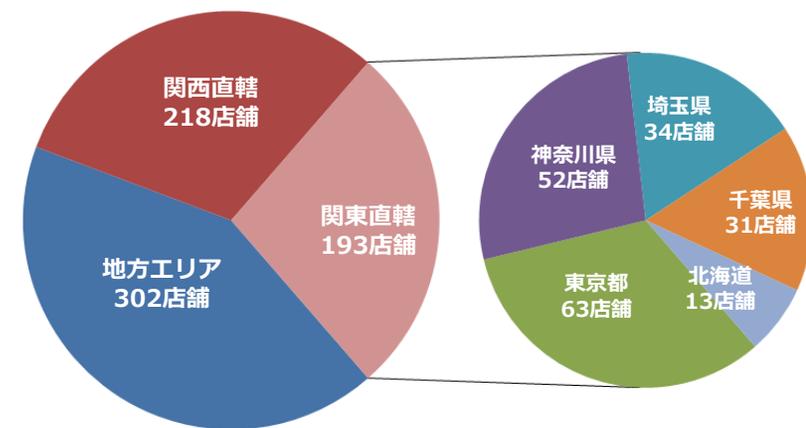


地域別店舗数

29期（2014年10月末）



30期（2015年10月末）



関東直轄：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県・北海道  
 関西直轄：大阪府・京都府・兵庫県（淡路島除く）・奈良県・和歌山県・滋賀県

## 類を見ない販管費の低さ

業務スーパーでは徹底的な「ローコストオペレーション」を実施することで約14%という圧倒的な販管費の低さを実現し、商品の販売価格を押さえながらも店舗に利益が残る仕組みを構築しています。例えば、人件費を削減するために「ダンボールのまま商品を陳列する」、「冷凍ケースや陳列棚を大きめの特別サイズにし、一度に商品一箱全てを品出しできる」、「発注などをシステム化し、データを自動処理する」といった工夫を行っています。



## オリジナル商品の強化

国内の自社食品加工工場数は21工場となり、その所有数は日本一(\*)の規模です。そこで製造される業務スーパーにしかない品質と価格のオリジナル商品は、多くのお客様から支持されています。また、約50か国から直輸入している「世界の本物」の食品は、世界各国の本場の味をリーズナブルにご家庭でも味わっていただくと、大変好評です。



(\*)大手調査機関により、食品小売業界で当社より売上規模が大きく、且つ100%出資の国内食品工場を所有している会社を対象として2014年8月に調査

## 販売促進を強化

業務スーパーではセールと併せてテレビCMを実施。売上に寄与しました。

**業務スーパー15周年記念セール**  
(2015年2月15日～4月19日開催)

「驚きに来てください」をテーマにテレビCMを実施しました。「業務スーパー」を繰り返し伝えるインパクトのある内容です。



**業務スーパー700店舗達成記念セール**  
(2015年9月1日～10月31日開催)

「即戦力」をテーマにテレビCMを実施しました。これまでの業務スーパーのイメージとは違う内容で、特に関東地区では好評でした。



### 【店舗仕入れ前年対比】

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	通期
全エリア	既存店売上	105.5	104.1	105.0	106.6	96.0	108.7	105.3	103.0	102.8	104.9	107.1	109.0	104.8
	全店売上	108.2	106.5	107.4	109.4	98.9	112.2	108.6	106.0	105.5	108.2	110.4	111.7	107.7

→ 前年は消費税増税前の駆け込み需要があったため。

Imported Foods with limited Special Price **で大奉仕!!**

世界各国から直輸入した本場の商品が今だけの特別価格でお買い求めいただけます。是非この機会にお買い求めくださいませ。

商品についているこのPOPが目印!

馴染みのない輸入食品を手にとっていただく機会を増やすため、商品を限定して期間限定で特価販売する取り組みを開始しました。

「即戦力」をテーマに、様々な季節やシーンごとに合う業務スーパーの商品を店頭POPでご紹介しています。

あったかメニューの **即戦力**

業務スーパー **肉だんご** 500g

**160** 税別  
**172.80** 円

## 拡大するハラール需要の取り込み

世界的なムスリム人口の増加、そして、観光立国日本に向けた動きの中、当社は他社よりもいち早くハラール食品に注目し、取り扱いを強化してきました。メディアからの問い合わせも多く、「業務スーパーでハラール食品が買える」という認知は大変高まっています。



## 店舗向け試食会の実施

商品開発者から直接店舗の方にご説明し、ご理解いただくことで、お客様にもより商品の良さを伝えていきたいと考えております。



## もりのみやキューズモール店（2015年4月オープン）

帆船をイメージした店内では、挽きたて・淹れたてのオリジナルコーヒーを楽しめるイートインコーナー、樽生ワインの販売、ハラルコーナー、輸入雑貨の販売などを行っています。



## 元住吉店（2015年12月オープン）

木目調のナチュラルさと帆船のイメージを組み合わせたオシャレな店内で、約50か国から直輸入した「世界の本物」をベストプライスで提供しております。



### 【新しいお客様の取り込み】

これまで業務スーパーでも世界各国の輸入品を扱っていましたが、中には調理方法のわかりにくいものや、お客様の需要とマッチしないものがありました。ガレオンでは輸入食品を求めてご来店頂けていることと、試食などの実施により、業務スーパーとは異なるお客様を取り込むことに成功しています。

### 【都市部への出店】

ガレオンは業務スーパーよりも小型店舗であるため、これまで業務スーパーが出店できなかった駅ナカやショッピングモールなど、都市部への出店も積極的に行っていきます。

### 【ガレオンと業務スーパーの相乗効果】

今後はガレオンをフランチャイズで全国に店舗を拡大していく予定です。ガレオンにスケールメリットが生まれることで、その商品を業務スーパーでも扱えるようになり、業務スーパーの品ぞろえの強化にもつながります。



## 神戸クックワールドビュッフェ

店舗数：15店舗（2015年10月31日現在）

形態：単独店舗

ショッピングセンターイン

- 2015年8月6日 OPEN!  
ハーバーランド店（神戸市中央区）
- 2015年10月26日 OPEN!  
新潟西店（新潟県新潟市）

### 神戸クックワールドビュッフェとは

- 神戸クックワールドビュッフェは、世界各国の様々なお料理を時間を気にせずゆっくりとお召し上がりいただけるビュッフェスタイルのレストランです。
- 店内では臨場感やワクワク感あふれるライブキッチンもあり、「できたて」「おいしい」「楽しい」を五感で感じていただけます。
- 神戸物産グループでは、独自の食品加工ノウハウを駆使し六次産業の取り組みを外食事業にも活かすことにより、神戸クックワールドビュッフェでしかできないクオリティの高いオリジナルメニューを提供しています。

### 新たな取り組み

8月6日にオープンしたハーバーランド店は、約350席の座席を有するワールドビュッフェの中でも大型の店舗で、既存店舗にはないバーカウンターや個室などを用意しました。

神戸ハーバーランドはビジネスビルや結婚式場など様々な需要があり、ハーバーランド店ではそういった新たな需要も取り込めるように柔軟なサービスを展開しています。



写真はハーバーランド店のものです。



鉄板ビュッフェ

### Green's K 鉄板ビュッフェ

店舗数：5店舗（2015年10月31日現在）  
ビュッフェとセルフクックが融合したレストラン。



### Green's K

店舗数：10店舗（2015年10月31日現在）  
パーツごとに分けた材料を店内調理場で組み合わせることで、出来立ての惣菜やお弁当を提供する惣菜店。



ビュッフェ&  
しゃぶしゃぶ神戸  
BUFFET & SHABU SHABU KOBE

### ビュッフェ&しゃぶしゃぶ神戸

店舗数：1店舗（2015年10月31日現在）  
ビュッフェとセルフクックに加え、しゃぶしゃぶも楽しめる新感覚レストラン。



### しゃぶしゃぶ神戸

店舗数：1店舗（2015年10月31日現在）  
店舗面積 6,100sf (567㎡) 約180席  
ニューヨークで本場の和食を味わえるレストラン。



## ジー・コミュニケーショングループとの業務提携



2013年に神戸物産グループはジー・コミュニケーショングループと業務提携しました。当社が取り扱う輸入食材や自社グループ工場の商品を株式会社ジー・コミュニケーションが運営する外食店舗約800店舗に提供することで、当社はよりスケールメリットの強化や食材を無駄なく供給することが可能になり、ジー・コミュニケーショングループは安定した仕入れに繋がり、シナジー効果を生み出しています。

当社は六次産業の活性化には第三次産業の強化が必要不可欠だと考えています。この業務提携により業務スーパー以外の第三次産業を拡大することで、第一次、第二次産業もさらに拡大させ、日本最大の六次産業を推し進めています。



温室効果ガスである二酸化炭素の削減、将来的なエネルギー供給の安定化等の観点から、2012年11月よりメガソーラー発電事業を開始しました。

2015年7月31日現在、北海道で4ヶ所、兵庫県で4ヶ所、福岡県で5ヶ所の計13ヶ所で約**15.6MW**の発電を開始しています。日本の経済産業省の許可及び電力会社の認可については**355MW以上を取得済み**で、一企業としては最大級の規模で運営を計画しています。

また、この他にも日本が世界に誇る世界有数のクリーンエネルギーである地熱発電にも取り組み、今後も化石燃料の利用を抑え、より安全でクリーンな再生可能エネルギーの普及拡大を進めてまいります。



## ●稼働中発電所（北海道4ヶ所、兵庫県4ヶ所、福岡県5ヶ所）

発電所名	出力	初期投資額	売電額（想定）	投資回収年数
	(MW)		年額	
クック屋根太陽光発電所（兵庫県）	(29kw)	1,000万円	100万円	9年11ヶ月
稲美町第一太陽光発電所（兵庫県）	1.0	2億8,500万円	4,300万円	7年7ヶ月
稲美町第二太陽光発電所（兵庫県）	2.4	6億4,700万円	1億500万円	6年10ヶ月
稲美町第三太陽光発電所（兵庫県）	1.0	3億3,200万円	4,600万円	8年3ヶ月
むかわ町汐見太陽光発電所（北海道）	0.2	5,300万円	600万円	11年8ヶ月
むかわ町大成太陽光発電所（北海道）	0.6	1億6,300万円	2,500万円	8年9ヶ月
上毛町太陽光発電所（福岡県）	0.9	2億7,400万円	3,500万円	9年6ヶ月
芦別太陽光発電所（北海道）	2.1	6億5,600万円	8,200万円	9年9ヶ月
田川第一太陽光発電所（福岡県）	2.0	6億6,200万円	8,800万円	10年4ヶ月
田川第二太陽光発電所（福岡県）	2.0	6億6,200万円	8,800万円	10年4ヶ月
嘉麻第一太陽光発電所（福岡県）	1.0	3億4,100万円	4,100万円	10年6ヶ月
嘉麻第二太陽光発電所（福岡県）	2.0	6億8,200万円	8,100万円	10年7ヶ月
平取町太陽光発電所（北海道）	0.4	1億1,800万円	1,500万円	11年1ヶ月
<b>合 計</b>	<b>15.6</b>	<b>48億8,500万円</b>	<b>6億5,600万円</b>	<b>-</b>

## 地熱発電

日本は世界で有数の地熱資源大国です。地熱は無限に近い地下エネルギーであり、化石燃料（石炭、石油、天然ガス等）の埋蔵量が極めて少ない日本にとって、世界に誇れる地下資源です。

また、地熱発電は再生可能エネルギーの中でも天候・昼夜に左右されず、安定した発電が可能で、発電効率が良く、なおかつ地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出が最も少ない、エコロジックなクリーンエネルギーです。



## 木質バイオマス発電

北海道白糠郡白糠町では新たに木質バイオマス発電事業を行い、白糠町で取り組みが進められているヤナギなど早生木の利活用と栽培などにも協力しながら、地域に根差した自然エネルギー循環型モデルを構築することが当事業の目的です。



北海道白糠郡白糠町

## 観光事業

発電事業以外にも地熱エネルギーを活用した観光事業を計画しています。



温水エコハウスイメージ

### 【北海道】函館プロジェクト

化石燃料を使わずに地熱（温水）でハウス内を温める温水エコハウスを北海道大沼地区で運営しています。この温水エコハウスを活用し、ファミリーで楽しめる観光農園を計画しています。

(2016年OPEN予定)



温泉施設（ホットラグーン大分）  
第一期工事完成イメージ

### 【九州】九重・湯布院プロジェクト

発電に使われる地熱（温泉）を二次利用し、温泉施設の建設を計画しています。エネルギーを無駄なく活用し、地形を生かした環境にやさしい施設です。ファミリーで楽しめる棚田式の露天風呂など、心からの癒しをお届けします。

(2016年OPEN予定)

30期は1年間で100件以上の媒体掲載がございました。昨年の傾向といたしましては、関東を中心にテレビ取材が増え、安さだけではなく神戸物産グループとしての取り組みやハラール食品に関する取材が目立ちました。

放映日	媒体名	種別	対象業態	概要
2014.11.12	フジテレビ「特ダネ」	テレビ	ガレオン	業務用の魅力という特集で商品を紹介し、お客様インタビューや買われた商品の紹介、担当者インタビューを放送。
2015.02.01	NHK BS1「Biz+サンデー」	テレビ	神戸物産	円安の中で好調を維持している小売店（企業）というテーマで、業務スーパー独自の商品（ソイキューブの冷凍ケーキやマスゼンの鍋の素、豊田乳業の水ようかん）や取り組みなどを、5分程度のVTRで紹介。
2015.02.25	日本テレビ「ヒルナンデス！」	テレビ	業務スーパー	「ドケチ隊が行く激安店ツアー！」という30分程度のコーナーで「プロが通う業務スーパー」という内容で紹介。タレント数名が店内で買い物し、宮城製粉のチューロスなどを試食。
2015.03.13	テレビ東京系列 「たけしのニッポンのミカタ！」	テレビ	神戸物産	「日本を紹介する」というテーマで、業務スーパーがC&C店舗数日本一であることや、国内自社工場数が日本一であることの紹介の他、店舗（商品やお客様インタビュー）、開発者、豊田乳業、赤井川エコハウスなどを紹介。
2015.04.27	朝日放送 「おはよう朝日です」	テレビ	ガレオン	もりのみやキューズモールBASEの紹介で、施設の店舗の一つとしてガレオンを紹介。
2015.05.04	TBS「あさチャン」	テレビ	業務スーパー	イスラム教徒の方のみではなく健康志向などでハラールフードを楽しむ日本人が増えているというテーマで、ハラールフードの販売店の一つとして業務スーパーを紹介。
2015.05.31	テレビ大阪 「やすとものどこいこ！？」	テレビ	ガレオン	もりのみやキューズモールBASEでタレントが他のお客様同様に自由に買い物を楽しむという企画で、キューズモール内の数店舗での買い物風景の撮影。（ガレオンも含め4店舗）
2015.08.05	テレビ朝日 「ナニコレ珍百景」	テレビ	業務スーパー	<巨大珍百景>のコーナーで水ようかんを撮影。レンジでチンして溶かすと、お汁粉になるといったことも紹介。
2015.08.17	テレビ東京系列 「ワールドビジネスサテライト」	テレビ	鉄板ビュッフェ	「“新外食時代”生き残りを賭けた戦略」というコーナーで、当社の鉄板ビュッフェとワンカルビ（ワンダイニング）を放送。当社はセルフクックや六次産業の取り組みなどを紹介。
2015.08.20	朝日放送 「キャスト - CAST-」	テレビ	ワールドビュッフェ	「いきなり！出口調査」というコーナーで、ビュッフェを3店舗紹介し、その内の1店舗としてワールドビュッフェハーバーランド店を紹介。レポーターが実際に店舗を訪れ、店舗の紹介、料理の試食、お客様のインタビューなどを撮影。
2015.09.04	テレビ朝日 「スーパーJチャンネル」	テレビ	鉄板ビュッフェ	「850円で食べ放題！キッチンってなに？」というテーマで、店長・お客様インタビュー、店舗内外の賑わいや行列、レポーターによるセルフクックなどを撮影。
2015.09.27	TBS 「応援！日本経済がっちりマンデー」	テレビ	業務スーパー	「急増しているお店」というテーマの1社として業務スーパーを紹介。特徴的な商品や、当社のフランチャイズシステムを紹介。

＜2016年10月期の取り組み課題＞

- 自社グループ商品や輸入商品など、PB商品の開発強化
- 食品工場、農畜水産業の更なる強化
- 時間コストを削減し、ムダ・ロス・非効率を徹底的に排除
- キャッシュフローの有効利用（有形資産の取得）
- 業務スーパー店舗数の増加（25店舗増）
- 安全安心確保のための商品・品質管理強化
- 神戸クック事業の黒字化
- メガソーラー発電事業の拡大

2016年10月期の連結業績予想（2015年11月1日～2016年10月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	119,800	7.5	4,600	47.6	4,600	△3.3	2,600	9.9	99.48
通期	243,000	6.3	9,000	32.3	9,100	6.2	5,300	28.9	202.79

2016年10月期の個別業績予想（2015年11月1日～2016年10月31日）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	103,100	6.1	3,400	△12.4	2,200	△8.0	84.18
通期	210,000	4.7	7,000	3.0	4,500	10.7	172.18

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

＜中期目標（2017年10月期）＞

連結売上高3,000億円、連結経常利益は150億円を目標とし、積極的な事業展開を行っていきます。

- 本資料には、2016年1月27日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれます。
- 経済環境の変動など不確定要因により実際の業績が記載の予想と異なる可能性がありますのでご了承ください。
- 本資料は株式の購入の勧誘・奨励を目的としたものではありません。

---

～本資料に関するお問い合わせ先～  
株式会社神戸物産  
経営企画部門 IR・広報 花房・森下  
TEL : 079-496-6623  
FAX : 079-454-2300